

報道関係各社 様

令和5年7月4日  
北越急行株式会社

## ほくほく線 運賃の変更認可申請について

北越急行株式会社では、本日、令和5年7月4日に北陸信越運輸局に対し、以下のとおりほくほく線の鉄道旅客運賃の変更認可申請を行いました。

認可された場合、ご利用の皆さまにはご負担をおかけすることになりますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

## 記

## 1. 申請の内容

(1) 実施予定日 令和5年10月1日(日)

(2) 申請理由

ほくほく線は、平成9年3月の開業以来今日まで地域の鉄道として運行してまいりました。

平成27年の北陸新幹線金沢開業に伴う特急はくたかの廃止により、経営上大きな影響を受けることとなるため、平成26年6月に「北陸新幹線開業後の経営計画」を策定し、計画に基づき内部留保を有効に活用しながら設備及び要員のスリム化の実施と利便性の向上等による収入の確保を柱とした自助努力と、設備の修繕や車両の検査修繕費用等に対する国の補助制度や、県及び沿線市町からの協調補助等を活用するとともに、平成30年12月には計画に基づき10%の運賃値上げを行い、ご利用される皆さまにもご負担をお願いし、地域の鉄道として安全・安定輸送に努めてまいりました。

しかしながら、沿線からの人口流出、少子高齢化に伴う就労・就学需要の減少、経年による車両・設備の維持管理費の増加等により厳しい経営状況が続いています。さらに、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、大幅に減少したご利用者数は回復傾向にありますが、コロナ禍前の7割程度にとどまっております。さらに、動力費、燃料費及び材料費等の高騰により経費が増加していることから、経営環境は一層厳しさを増しています。

直近5年間の営業損失の平均は8.51億円、当期純損失の平均は6.04億円となっており、現状で推移した場合、将来の設備更新等に備え蓄えていた積立金も当初計画の令和26年よりも早く、十数年後には枯渇することになります。

このことから、経営計画では平成30年に10%、令和10年に10%、令和20年に10%の運賃改定を行い、全国の第三セクター鉄道の平均運賃並みとするとしておりましたが、改定時期を前倒しし、この度、全体で約16%の運賃改定を実施させていただきたく、運賃変更認可の申請を行うものです。

(3) 申請の概要

普通旅客運賃及び定期旅客運賃を改定します。

(4) 改定率

普通旅客運賃		20%
定期旅客運賃	通勤定期	20%
定期旅客運賃	通学定期	10%

(5) 申請・現行運賃比較表

普通旅客運賃

営業キロ程	現行運賃	申請運賃	営業キロ程	現行運賃	申請運賃
3 kmまで	170	210	31kmから33kmまで	670	800
4kmから6kmまで	200	240	34kmから36kmまで	730	890
7kmから9kmまで	220	260	37kmから39kmまで	800	970
10kmから12kmまで	250	300	40kmから42kmまで	850	1,020
13kmから15kmまで	290	350	43kmから45kmまで	890	1,080
16kmから18kmまで	340	400	46kmから48kmまで	940	1,130
19kmから21kmまで	390	470	49kmから51kmまで	980	1,190
22kmから24kmまで	460	550	52kmから54kmまで	1,020	1,230
25kmから27kmまで	530	640	55kmから57kmまで	1,050	1,270
28kmから30kmまで	600	720	58kmから60kmまで	1,090	1,310

定期旅客運賃 通勤定期 (1ヶ月)

営業キロ程	現行運賃	申請運賃	営業キロ程	現行運賃	申請運賃
3 kmまで	6,220	7,460	31kmから33kmまで	24,070	28,880
4kmから6kmまで	7,050	8,460	34kmから36kmまで	26,550	31,860
7kmから9kmまで	7,880	9,470	37kmから39kmまで	29,040	34,850
10kmから12kmまで	9,140	10,960	40kmから42kmまで	30,700	36,840
13kmから15kmまで	10,380	12,450	43kmから45kmまで	32,360	38,830
16kmから18kmまで	12,040	14,440	46kmから48kmまで	34,020	40,820
19kmから21kmまで	14,110	16,930	49kmから51kmまで	35,670	42,810
22kmから24kmまで	16,590	19,910	52kmから54kmまで	36,930	44,310
25kmから27kmまで	19,080	22,900	55kmから57kmまで	38,170	45,810
28kmから30kmまで	21,570	25,880	58kmから60kmまで	39,420	47,300

定期旅客運賃 通学定期 (1ヶ月)

営業キロ程	現行運賃	申請運賃	営業キロ程	現行運賃	申請運賃
3 kmまで	3,300	3,630	31kmから33kmまで	12,760	14,040
4kmから6kmまで	3,740	4,110	34kmから36kmまで	14,080	15,490
7kmから9kmまで	4,180	4,600	37kmから39kmまで	15,400	16,940
10kmから12kmまで	4,840	5,320	40kmから42kmまで	16,280	17,910
13kmから15kmまで	5,500	6,050	43kmから45kmまで	17,160	18,880
16kmから18kmまで	6,380	7,020	46kmから48kmまで	18,040	19,840
19kmから21kmまで	7,480	8,230	49kmから51kmまで	18,920	20,810
22kmから24kmまで	8,800	9,680	52kmから54kmまで	19,580	21,540
25kmから27kmまで	10,120	11,130	55kmから57kmまで	20,240	22,260
28kmから30kmまで	11,440	12,580	58kmから60kmまで	20,900	22,990

2. 収支の実績・見込及び推定

(単位：千円)

項目	令和4年度	令和5年度	令和6~8年度推定(3年間合計)	
	(実績)	(見込)	現行	申請
収入	456,480	524,065	1,552,739	1,754,148
支出	1,391,439	1,415,783	4,078,493	4,078,493
差引	-934,959	-891,718	-2,525,754	-2,324,345
収支率	32.81%	37.02%	38.07%	43.01%

### 3. 運賃収入の実績・見込及び推定

(単位：千円)

項目	令和4年度	令和5年度	令和6～8年度推定(3年間合計)	
	(実績)	(見込)	現 行	申 請
定期外	205,574	267,123	846,178	1,014,696
定 期	76,441	80,230	232,798	265,689
合 計	282,015	347,353	1,078,976	1,280,385

### 4. 需要見通し

(単位：千人)

項目	令和2年度 (実績)	令和3年度 (実績)	令和4年度 (実績)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
定期外	197	238	360	425	485	495	504
定期	通勤	112	112	113	111	111	112
	通学	431	460	444	437	444	476
	計	543	572	557	548	555	588
合 計	740	810	917	973	1,040	1,066	1,092
対前年度比	—	109.43%	113.23%	106.09%	106.85%	102.52%	102.45%

### 5. 設備投資実績・見込及び計画

(単位：千円)

項目	令和2年度 (実績)	令和3年度 (実績)	令和4年度 (実績)	令和5年度 (見込)	令和6年度 (計画)	令和7年度 (計画)	令和8年度 (計画)
防災対策				187,000			
安全輸送	46,900	128,800	46,600	7,700	110,800	219,000	121,000
その他	2,200	28,300	3,700	19,400	42,000	6,400	0
計	49,100	157,100	50,300	214,100	152,800	225,400	121,000

### 6. これまでの経営合理化の状況及び今後の取組み

平成26年6月に策定した「北陸新幹線開業後の経営計画」に基づき、経費の削減と収入の確保に取り組んでまいりました。

経費の削減としては、特急列車廃止による過剰設備のスリム化を行い、7か所あった変電所のうち3か所の受電を停止するとともに、信号設備の簡素化により駅間の閉そく信号機を34基廃止して維持管理費の削減を図りました。また、組織体制や業務の見直し等により要員のスリム化を実施し、人件費の削減を図りました。

収入の確保としては、お客さまのご利用実態に合わせたダイヤの見直しにより利便性の向上を図るとともに、人気イベント列車の運行、旅行商品の造成やほくほく線関連グッズの販売等を実施してまいりました。また、県や沿線自治体、関係団体と共同したイベント列車の運行により地域の活性化や利用客の増加を図りました。輸送余力を有効活用した新たな収入の確保とCo2排出量の削減、効率的な物流の実現などを目的として、平成29年4月から第三セクター鉄道では初めてとなる「貨客混載列車」の運行を開始いたしました。

鉄道軌道安全輸送設備等整備事業をはじめとする国の補助事業を活用して行う鉄道設備の整備等に要する費用に対し、平成28年度より新潟県及び沿線自治体からも協調して補助金の交付を受けるスキームが構築され、今後も補助事業を活用して鉄道設備の整備を行い、安全で安定した輸送の確保を図ってまいります。

開業以来、安全で安定した輸送を鉄道事業の根幹と位置づけ、お客さまの信頼を得ることがご利用増につながるものと考えてまいりました。今後も地域の公共交通として地域に密着したご利用しやすい輸送体系を構築するとともに、設備のスリム化等による固定費の削減とイベントの拡充、遊休資産の活用、内部留保の有効活用等の取組みを行い、収支の改善や活性化策に努めてまいります。また、地域公共交通であるほくほく線の事業継続に向け、県並びに沿線市町と協議を行ってまいります。

## 7. 運賃・料金の多様化の内容

高齢者向け乗車券 (新設)	70歳以上の方若しくは運転免許を返納された方が利用できます。
一日フリーパス (既設)	全線を一日中、何回でも乗り降りできる乗車券となっており、割安な運賃で移動できます。平日・土休日を問わず一年中利用可能な、沿線地域の観光に便利な乗車券です。
中学生定期 (既設)	中学生用の通学定期券。高校生用定期券の80%相当の金額でご利用できます。1ヶ月・3ヶ月・6ヶ月定期があり、中高一貫校の生徒さんを中心にご利用いただけます。
精神障がい者 割引制度 (既設)	精神障がい者割引制度です。身体・知的障がい者割引制度と同じ制度となります。身体・知的及び精神障がい者割引制度の距離制限はありません。

## 8. 利用者サービスの向上策

### ■高齢者向け乗車券の発売

70歳以上の方若しくは運転免許返納者が利用できる乗車券を発売します。

### ■団体運賃の割引率の変更

学生団体 20%割引を、学生50%・児童30%・教職員30%割引に変更します。  
 ※学生は無賃割引がなくなります（JR・えちごトキめき鉄道と同様）  
 普通団体 通期10%割引を1期10%・2期15%割引に変更します。

## 9. 運賃改定に関する情報へのアクセスについて

### ■運賃変更認可申請に関するお問い合わせ先

営業企画課 電話025-750-1251

### ■北越急行(株)ほくほく線ホームページ

アドレス <https://hokuhoku.co.jp>

この資料に関するお問い合わせ先  
 北越急行(株) 営業企画課  
 電話：025-750-1251

ご利用の皆さまへ

# ほくほく線 運賃改定について

日頃よりほくほく線をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

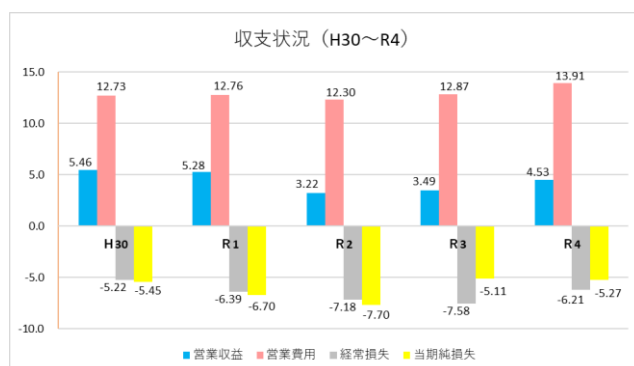
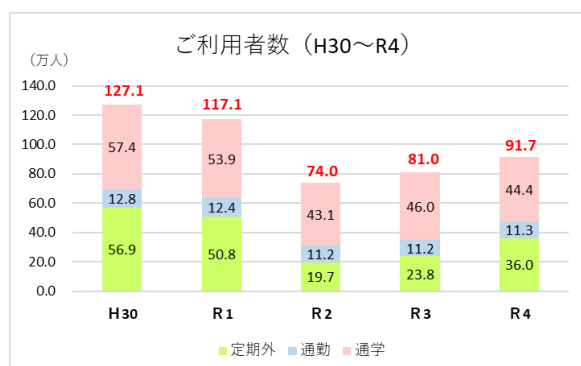
ほくほく線では、令和5年7月4日に北陸信越運輸局へ運賃の変更認可申請を行いました。これは普通運賃（回数券を含む）と通勤定期を20%、通学定期を10%相当改定させていただく内容となっております。認可いただければ今年10月に運賃改定を実施させていただく予定です。ご利用いただいている皆さまにはご負担をおかけすることになりますが、鉄道事業の継続のために実施させていただきたいと考えておりますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

## ■経営状況の悪化

ほくほく線は、平成9年3月の開業以来今日まで、地域の鉄道として運行してまいりました。開業時から運行していた「特急はくたか」は予想を上回るご利用をいただき、安定した経営を支え、利益を将来に向けて積み立てることができました。

平成27年3月に北陸新幹線が開業して運賃収入の9割を占めていた「特急はくたか」が廃止となり、ローカル列車のみの運行となったため、経営は大きく悪化し、これまでの利益積立金により事業を継続しているものの、沿線からの人口流出、少子高齢化に伴う就労・就学需要の減少、経年による車両・設備の維持管理費の増加等により厳しい経営状況が続いています。さらに、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う収入の減少や、動力費、燃料費及び材料費等の高騰による経費の増加により、経営状況は一層厳しさを増しています。

このままで推移した場合、将来の設備更新等に備え蓄えていた積立金も十数年後には枯渇することになります。



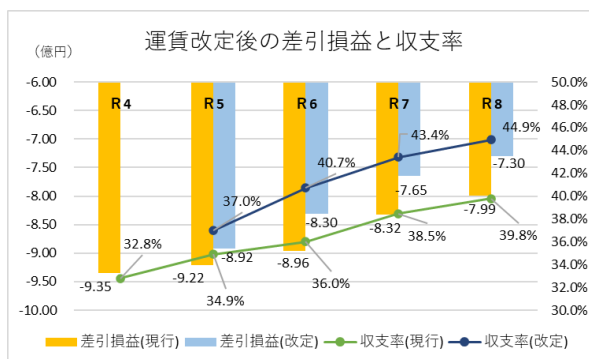
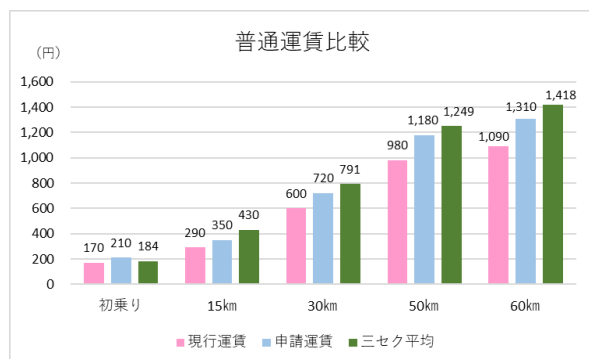
## ■自助努力と支援

ローカル列車のみの厳しい経営を行っていくため、平成26年6月に策定した「北陸新幹線開業後の経営計画」に基づき、経費の削減と収入の確保に取り組んできました。これまでの安全性や利便性を確保しつつ、特急列車がなくなったことで過大となってしまった設備や要員のスリム化を行っています。人気イベント列車の運行や旅行商品の造成、県や沿線自治体、関係団体と共同のイベント列車の運行により地域の活性化や収益の確保に努めています。

平成28年度より、鉄道の安全輸送設備を整備する事業等に対して国だけでなく、新潟県や沿線自治体からもほくほく線の支援策として補助金を支出していただき、県民、沿線住民の皆さまからもご支援いただいています。

## ■運賃

ほくほく線の運賃はご乗車いただく距離によって決められていますが、開業当初はJRとほぼ同じ水準でした。全国にある他の第三セクター鉄道では厳しい経営環境の下、運賃は、ほくほく線の1.3倍～約2倍となっています。こうした状況を考慮して、経営計画では平成30年に10%、令和10年に10%、令和20年に10%の運賃改定を行い、全国の第三セクター鉄道の平均運賃並みとすることとしておりました。しかし、計画を上回るお客さまの減少、車両・設備の老朽化の進行もあり、改定時期を前倒しさせていただき、全体で約16%の運賃改定を実施させていただくものです。申請内容は、普通運賃(回数券を含む)と通勤定期20%、通学定期につきましては沿線自治体からのご要望をいただいたことと、子育て支援の観点からも10%相当とさせていただいています。



## ■利用者サービスの向上

### ○高齢者及び運転免許返納者向け乗車券の発売

70歳以上の高齢者または運転免許返納者向けの乗車券を発売します。

### ○団体運賃の割引率の変更

学生団体：20%割引 ⇒ 学生 50%・児童 30%・教職員 30%割引に変更します。

普通団体：10%割引 ⇒ 1期 10%・2期 15%割引に変更します。

北越急行株式会社  
代表取締役社長 小池裕明